



今回は、SGHの夏期フィールドワークの報告です。

◇スターバックス Youth Connection に参加しました！

日時：平成30年8月5日、8月11日、8月18日、8月25日の4日間

SGH 課題研究においてフェアトレード、環境問題、食糧問題などについて取り組むグループから集まった4名の生徒が、スターバックス関マゴ店で高校生プログラム「Youth Connection*」に参加してきました。4日間のプログラムでの活動と感想を紹介します。

*「Youth Connection @ STARBUCKS」は、応募によって集まった2~4名の高校生がチームとなり協力しながら、自由な発想で地域を盛り上げるイベントを企画・開催する夏休み4日間のプログラム。成功体験や周囲から認められる経験を通して、高校生の自信と主体性を育むことを目的として、2016年より実施している取り組みである。



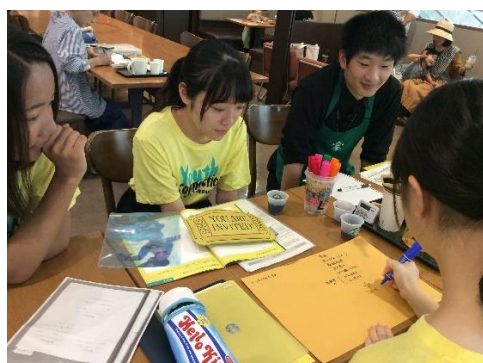
◇【1日目】メンバーとの交流と理想の自分について

まず初めに、チームのメンバーとお世話になるスタッフさんと自己紹介をしました。クラスもバラバラの4人で少し緊張していましたが、少しずつ打ち解けることができました。その後にコーヒーのテイastingをしました。普段コーヒーを飲まない人がほとんどだったけれど、「4つのステップ」を教えてもらい、皆が自分の言葉でコーヒーの味を表現していました。Youth Connectionの活動の流れについて説明を聞き、1日目のメインである「未来を思い描く」活動が始まりました。自分がなりたい姿を考え、交流しました。メンバーの知らなかった一面を知ることができ、これからこの4人で頑張ろうと改めて思いました。また、自分の良いところを、メンバーから言葉にして伝えてもらえたことで、よりやる気が高まりました。



メンバーそれぞれが思う理想の姿を、残りの3日間意識して、1回1回の活動で成長していこうと、全員が前向きに考えられた初日だったと思います。

◇【2日目】私たちのほしい未来とは…



2日目はまず、私たちの“ほしい未来”とはどんなものか、20年後、30年後、どんな地域・社会に住みたいのか話し合いました。ゴミがない・空気がきれい・緑が多いという理想からさらに踏み込んで、子どもから大人まで住みやすい社会、自然を大切にする気持ちが持てる社会、環境について考える人が増える社会、そんな社会が私たちの“ほしい未来”であることが分かりました。

“ほしい未来”が分かったところで、そこに近づくために私たちに何ができるのか、最終日に行うイベントの企画をしました。1日目よりも緊張がほぐれ、とても話しやすい雰囲気、積極的に意見が出るようになりました。店内にいるお客様にもインタビューをし、最終日に向けアイデアを深めていきました。まだまだ不安が多かったけれど、企画を成功させたいという気持ちから、ポジティブに考えられるようになりました。

◇ 【3日目】 イベントに向けてより深める

3日目は、4日目に行われるイベントに向けての準備をしました。しかし、準備をしていく中で私たちの目標にしてきた「環境について考える人が増える」という事が、まだ私たち自身も意識をできていないと分かりました。もう一度、自分たちは何を目標に企画を考えていくのか、そのためにどうすれば近づいていくのかを、改めて話し合うことができました。考える中で、なかなか意見がまとまらない時があり、少し静かになってしまいう時もありましたが、アドバイスをいただいて、それをもとに自分たちで意見を出してイベントに向けて話し合いを深めることができました。その際、自分たちのルールである、仲間の話を否定せず聞くこと、笑顔を大切にすること、自分から意見を積極的に出すことを守れました。



◇ 【4日目】 発表する！



4日目は今まで考えてきた、自分たちがほしい未来についてできることをお客さんの前で話をしました。私たちはスターバックスでできることとして、環境破壊につながっているプラスチックごみを減らすために、「タンブラーやコップを持ってくることを提案しました。聞いてくださったお客さんが、「次から持ってこようという気持ちになった」と言ってくださりとてもうれしかったです。

そして最後に4日間の活動を振り返り、お互いの良さについて話し合いをしました。今まで気づけなかった自分の良さに気づくことができうれしかったです。

今回学んだことを SGH 課題研究に生かし、それぞれが今回の成果を自分のグループに持ち帰って、より良い発表にしたいと思います。

